

このような内容は全く馬鹿げたものであり、天下の『本田』が自主的に作成したものとは思われず、内容的にも理解に苦しみます。
これを書いた担当者の技術、又、良識を疑います。

(要求金額)

見積もり書のごとく『¥51,294円』を支払え。

☆尚、前回(4月頃)にも同様の要求あり。内容は『猫』が新車の『車体』を『爪』でひつかき傷を付けた、補修費用として『20万円』を支払えの要求。

☆小生が『車』を調べたところ『傷痕』は無し～相手の自宅を訪問～その旨を伝えると共に(猫が鉄板をヒックク事など考えられない)どうしても納得が行かぬなれば、明朝までに車体の外部清掃(ワックス仕上げ)をしてさしあげましょう～外部を詳細に調べた所、全くも異常無し～本人も小生の処置に納得したのかその後、何の言い掛かりも無く、今日に至る。

(現状)

駐車場は隣同士であり、それぞれ互いに『2台』所有。

小生の『猫』は現在『5匹』(屋内を含め合計8匹であるが、屋外では5匹)

『牡』～一匹(去勢済み)『雌』～四匹(避妊済み)

☆餌は小生の『車の下』で人目に付かぬよう、配慮して与え、車も殆ど動かす事はありません、安心して休息(車の下で)しています。

☆『五匹』とも全て、人間の勝手なエゴにより『捨てられた』小さな心に深い傷を負ったものばかりであり、古い猫で約8年～最近では、『歯』も少々悪くなり、口の周囲に白髪もみうけられます、このような『勢一杯』生きようとする『生き物』に対し、難癖をつけ、手出しをしようとする『卑劣な人間』を絶体に許す事は出来ません。

☆尚、当日の夕刻、妻が『夕食の餌』を与えに駐車場に降りた所、常時置いてある『水』の容器、と『餌入れ』が全部処分されていた状態～相手が腹いせに捨て去つたものと断言出来ます。

☆実に陰險なやり方、卑屈な浅ましい、最低の人間と判断されます。

☆いずれにせよ、いかなる手段を用いてでも、この小さな『命』を守つてやらなければと思います、又、小生も命ある限り守り抜く所存です。

◎どうか、お力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

☆現在原則的には、マンション内での『動物』の飼育は禁止されていますが、他人が捨てた『犬』『猫』を拾い、助け、息を潜め～周囲に気を使いながら、守つて下さる方々が多数おられます、規則がある以上、厳守すべき事は十分に理解してはおりますが誰かが、この小さな命を守る役目をしなければ、彼らの立場は、余りにも悲惨です。